

## 令和4年第2回教育委員会議事録

開催日時 令和4年2月25日（金）  
午前9時30分～午前11時45分

場所 八潮生涯学習館多目的ホール

出席者 教 育 長 井 上 正 人  
教育長職務代理者 加 藤 正 道  
委 員 木 下 史 江  
委 員 高 橋 洋 一  
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳  
学校教育部長 山 本 誠  
教育総務部副部長兼教育総務課長  
千 葉 靖 志  
学校教育部副部長 田 口 周 一  
社会教育課主幹 小 林 勝 巳  
文化財保護課長 高 山 治  
学 務 課 長 山 内 修  
指導課長兼小中一貫教育推進室長  
千 嶋 淳 一  
学校 ICT 推進課長 菅 谷 昌 史  
教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和4年第1回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

議案第6号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和3年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出補正予算案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和4年2月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 歳入歳出予算の過不足を見込み、令和3年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

なし

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第7号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和4年度八潮市一般会計当初予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出当初予算案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和4年2月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 令和4年度八潮市一般会計当初予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

#### 【資料説明】

[質 疑]

#### ○木下委員

教育相談所に配置されているスクールソーシャルワーカーの増員について、現代では問題を抱えている家庭が数多くあり、相談も多いと思われ、1人では責務が重いように感じます。将来的に増員される可能性はあるのでしょうか。

#### ●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進室長

委員の仰るとおり、現在1名体制で職務を行っており、負担も大きいものと思われまます。令和4年度の増員予定はございませんが、今後、増員について検討してまいります。

#### ○高橋委員

給食費の加工費が上がるとのことですが、保護者の負担についてはどの様になりますか。

#### ●山内学務課長

加工費は市の負担となるため、保護者の負担が増えることはございません。

#### ○木下委員

被災児童生徒に対する就学援助ですが、現在八潮市では何人の被災児童生徒がいるのでしょうか。

#### ●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

小学生4人、中学生2人です。

○木下委員

学校給食援助費の予算が減っていますが、総児童生徒数が減っていたり、就学援助の準要保護児童生徒が減っているなどの理由があるのでしょうか。

●山内学務課長

人数が増減した訳ではなく、今年度の実態に合わせて予算を減らしたところでございます。

○加藤教育長職務代理

現在、燃料価格が高騰していますが、学校給食配送等委託料が前年度より減少しております。配送コストとして燃料価格は結びつくものと思われませんが、減少している理由があるのでしょうか。

●山内学務課長

業者に対し時期を分けて2回見積りを徴取したところ、前年度より低い価格でした。

○高橋委員

学校保健事業のキシレン検査委託料について、実施個所はどちらでしょうか。

●山内学務課長

市内小中学校15校の教室等にて実施するものです。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第8号 [説明者 山内学務課長]

県費負担教職員である校長及び教頭の任免に係る内申について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第38条第2項の規定により、埼玉県教育委員会に任免の内申をしたいので、議決を求めらる。

令和4年2月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 県費負担教職員である校長及び教頭の任免について埼玉県教育委員会に内申するため、この案を提出するものである。

●井上教育長

人事案件のため、秘密会とするべきと考えます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により議案第8号は秘密会となる。また、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第9号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市小中学校施設建設委員会に対する諮問（新設小学校建設基本設計）について

新設小学校建設基本設計について、別紙諮問書のとおり八潮市小中学校施設建設委員会に諮問することについて、議決を求める。

令和4年2月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 新設小学校建設基本設計について検討するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第10号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

八潮市小中学校施設建設委員会に対する諮問（八潮市立大瀬小学校増築設計）について

令和4年2月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 八潮市立大瀬小学校増築設計について検討するため、この案を提出するものである。

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

#### 4. 各部課長報告・連絡事項

##### ●荒浪教育総務部長

(1) 令和4年第1回八潮市議会定例会会期及び日程表(案)について

令和4年第1回八潮市議会定例会会期及び日程でございますが、会期は2月28日から3月18日までの19日間で、3月8日が総括質疑、9日が総務文教常任委員会、14日・16日・17日が一般質問、18日に採決という予定となっております。なお、一般質問につきましては、3月1日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

(2) 令和4年1月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への投書は8件ございました。内訳としましては教育総務課1件、社会教育課3件、学務課3件、指導課1件でございます。内容が同一の質問の場合は、まとめてご報告させていただきます。それでは、各課からご報告申し上げます。

##### ●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

教育総務課に寄せられた投書は1件で「幼稚園預かり保育の施設等利用給付請求について、利用日数に関係なく上限11,300円の給付を見直してほしい。本来であれば、預かり保育利用は完全無償にすべきだと思うが、もう少し共働きやシングル世帯に優しい制度にしてほしい。」との内容でございました。この投書に対しましては、「国の制度のため、制度自体を変えることはできないが、市で

独自に上乘せ補助をすることについて関係課と協議しながら検討していきます。」との内容で回答いたしました。

### ●小林社会教育課主幹

社会教育課に寄せられた投書は3件でした。

1件目は、「駅前でも本を借りることができるが、本の名前や著者名がわからないと借りられないので不便である。駅周辺にも大規模な図書館を設置してほしい。」との内容で、こちらは業務の参考ということで回答を要さないものでございましたが、今後においては、本年度策定した八潮市図書館公民館ビジョンに基づき、市民の皆様の読書環境と読書活動支援の充実に努めてまいりたいと考えています。

2・3件目は「やしお市民大学」に関することで、内容につきましては、運営方法や学習プログラム等に対する改善のご提案・ご意見でございました。市民大学が設立してから20年ということで、曲がり角に来ている。運営にあたっては、行政の関与の度合いを高めるべき、運営の民営化（新しい体制への思い切った刷新）を促進すべきとのご提案・ご意見を。また、学習プログラムにあっては、市が抱えている課題を率直に説明し、学生に問題意識を持ってもらうこと、まちづくりに貢献したいとする卒業生OBをフォローする仕組みの必要性などのご提案・ご意見をいただいたところでございます。この投書に対しましては、「やしお市民大学は共生・協働のまちづくりを目指し、市民と行政との協働によるまちづくりに貢献できる市民の育成を目的としていること。その上でその要となる学習プログラムについては、充実を図るための改善に努めていくなど、頂いたご提案・ご意見を踏まえ、市民の皆様の学びたい、知りたいという気持ちに応えていくこと。さらに、今後も地域のリーダーとして共にまちづくりを推進していくという、やしお市民大学の所期の目的を達成するため、運営事務局や卒業生OB、在学生の皆様をはじめとする関係者の皆様と課題を共有し、連携を図り、必要に応じて改善に努めていく旨」を回答したところでございます。

## ●山内学務課長

学務課に寄せられた投書は3件でございます。

1件目は、「学校給食で扱う食材にオーガニック素材を増やしてほしい。」との内容でございました。この投書に対しまして、オーガニック食材の優れている点に触れつつ、本市の学校給食で使用している主食（米・パン・麺）や牛乳は、埼玉県学校給食会から購入しているもので、米も牛乳も埼玉県産を使用していること、オーガニック食品を本市で取り入れることは、現時点では困難でありながらも、調査研究をしていく旨お伝えしたところでございます。

2件目は、「受験生なので学校に行くのが不安である。なぜ休校にしないのか。」との内容でございました。この投書に対しまして、「学級閉鎖」「学年閉鎖」「休校」の基準についてお知らせし、もし不安があるのであれば、自主的に休むことも可能であり、その場合には欠席とせず、出席停止扱いとなることをお伝えしました。

3件目は、「食中毒事故発生後の事業者との契約や衛生害虫の件」についての内容でございました。この投書に対しまして、給食センターや学校での衛生管理の取り組みや、衛生害虫が入り込んだ状況についてお伝えしたところでございます。

## ●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進課長

指導課に寄せられた投書は1件でございます。内容としましては、「ある学校にて先生が、幼稚園・保育園に弟妹が通っている子どもに挙手をさせ、その子らに対して、家族が発熱した場合に学校に来ないようにと、クラス全員の前で発言したことに関し、再発防止を要望する。」との内容でございました。この投書につきましては回答を求められておりませんが、先日開催された校長会にて投書の内容を報告し、発言に十分注意するよう、教職員へ対し周知徹底する旨を伝えたところでございます。

## ●山本学校教育部長

### (1) 学校の様子について

コロナ関係の対応についてご報告いたします。2月7日～10日の陽性者数は、小学校76名、中学校22名、教員10名と計108名、2月14日～18日の陽性者数は、小学校106名、中学校26名、教員7名と計139名、2月21日～25日の陽性者数は、小学校46名、中学校5名、教員0名と計51名が確認されました。先ほど、市民の声ボックスのご報告にもございましたが、学務課に寄せられた「受験生なので学校に行くのが不安である。なぜ休校にしないのか。」というご意見があったこと、また、埼玉県北部の学校では中学校3年生は休校にするという情報もあり、校長会にて話し合いを行いました。実際に子どもたちに聞いてみたところ、休校になったとして、外に出ないことで逆にストレスが溜まってしまうという意見が多く、結果、臨時休校とはせず、不安な生徒は自主休校（欠席とせず、出席停止扱い）をしてもらうことといたしました。ただ、先週八幡中学校においては陽性者が若干名確認されたため、21日、22日を学校閉鎖とする対応をとりました。このコロナ禍に関連する話ですが、最近ではICTの活用が一気に進み、先日の小中一貫合同報告会にてその成果が非常に出ていることが確認できたところでございます。

また、先日昨日公立高校の入学試験が行われました。コロナ禍の対応で、別室受験、追試受験の形をとっている場所もございます。

## ●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

### (1) 令和4年度定例教育委員会の開催予定（案）について

令和3年12月の定例教育委員会でご報告いたしました、令和4年度定例教育委員会の開催予定ですが、資料のとおり日程の変更をさせていただきましたので、日程調整をお願いいたします。

## ●小林社会教育課主幹

### (1) 八潮市立八幡図書館公民館大規模改修工事完成記念式典について

令和3年7月から八幡図書館・公民館の大規模改修工事に着手しておりますが、3月4日に全ての工事が終了する予定でございます。つきましては、工事

の完成を記念し、3月26日の午前9時30分から記念式典を挙るとともに、式典終了後に内覧会を実施いたします。記念式典では、コロナ禍を考慮し、愛称の発表と表彰式をメインに、簡素に挙行したいと考えています。また、内覧会につきましても、参加者が密にならないよう、式典参加者・関係者・一般と3回に分散して実施してまいりたいと考えています。委員の皆様におかれましては、記念式典へのご出席と式典終了後の内覧会へのご参加を賜りたく、お願い申し上げます。

### ●高山文化財保護課長

#### (1) 季節展示「ひなまつり」の開催について

資料館では、古民家を会場として各家で祝われてきた伝統行事を紹介する季節展示を年2回開催しており、3月の展示では、女の子の節句行事「ひなまつり」を取り上げます。ひなまつりの由来は、古代中国の「上巳の節句」が日本に伝わり、けがれを人形に移し水に流す「流しびな」が起源とされ、その後今の形に変化したとされています。展示品としましては、昭和初期の段飾りのほか、関西地方に多く見られる御殿飾り、伊豆半島や山形県鶴岡市などで局地的に広まったつるしひなを展示し、行事の由来や変遷、飾り物にこめられた祈りなどを紹介しています。是非ともご観覧賜りたくご案内させていただきます。

#### (2) 八潮市立資料館デジタルアーカイブと国立公文書館デジタルアーカイブとのシステム連携について

八潮市立資料館デジタルアーカイブは、収蔵資料の情報を広く発信するため、令和3年3月1日より配信を開始いたしました。今回、国立公文書館デジタルアーカイブとのシステム連携が始まりましたので、その概要をご紹介します。このシステム連携は、国立公文書館が推進する全国資料保存機関ネットワークへの参加を目的としたものであり、ネットワークに参加する全機関の資料データベースを一度に検索できる横断検索画面から、八潮市立

資料館デジタルアーカイブで公開している資料情報が検索可能となります。資料情報のデジタル利用が拡大する中、国立公文書館と連携することで収蔵資料の広範な情報発信と利用促進を図るものでございます。国立公文書館デジタルアーカイブのTOP画面で「他機関との横断検索」を選び検索画面でキーワードを入力すると該当情報を有するデータベース名と情報件数が表示されます。八潮市立資料館のデータベースを選択すると詳細情報が表示され、閲覧したい情報のリンクアドレスをクリックすると八潮市市立資料館デジタルアーカイブの該当情報にリンクされる仕組みとなっています。委員の皆様にもご利用いただきたく、ご紹介させていただきました。

#### ●山内学務課長

##### (1) 令和4年度八潮市教職員着任式について

現在、まん延防止等重点措置の期間中でございますが、令和4年4月1日に予定している教職員の着任式につきましては、本市の子どもたちの入学や進級、進学を担う教職員が、本市での新たなスタートを迎える意味でも、大変重要な式であると考えております。このため、現在のところ令和4年4月1日の着任式は実施する方向で準備を進めておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、着任式への参加は新規採用教職員と市内小中学校長のみの参加を考えております。本来であれば、教育委員の皆様には着任式にご出席いただき、本市の新採用教職員の門出を見届けていただきたいところでございますが、可能な限り、参加者の人数を少なくしたいと考えております。このため、教育委員の皆様のご出席はいただかないこととさせていただきますと存じます。なにとぞ、ご理解賜りたいと存じます。

##### (2) 学校給食について

学校給食について、4点ご報告いたします。

1点目は、令和3年度の学校給食費収納状況についてです。市内小学校の令

和3年4月から令和4年1月までの収納率は「99.78%」 中学校は「99.67%」小中学校の合算収納率は「99.75%」未納額は「651,684円」でございます。各学校におきまして、集金に対してご理解とご協力をいただいております、高い収納率が保たれているところでございます。

2点目は、八潮市学校給食ビジョンについてです。1月18日に、「学校給食ビジョン策定支援業務」の業者を選定するための指名競争入札を実施し、落札者が決定いたしました。事業者名は、「玉野総合コンサルタント株式会社」で、1月18日付けで契約を締結したところでございます。契約締結後、速やかに事業に着手しており、我々教育委員会とともに、ビジョンの策定に向けた取り組みを進めております。これまで2回の打ち合わせを行い、必要な資料の貸与を行っているほか、現在も頻繁にメールや電話による打ち合わせを行っているところでございます。特に、現在は児童生徒及び教職員向けの「学校給食に関するアンケート」の実施に向けた対応に優先して取り組んでおり、今年度中のアンケート調査の実施を目指しているところでございます。このアンケートは、市内小中学校に通う児童生徒の学校給食に対する意向を把握するとともに、日々児童生徒と共に給食を食べている教職員からも、現状や課題、そして今後魅力ある学校給食とするための考え方等について調査し、参考にするため、実施するものでございます。なお、アンケート調査の結果につきましては、ビジョンの策定に役立てるほか、現在実施している学校給食の質の向上にも繋げたいと考えております。学校給食ビジョンの策定につきましては、今後の進捗に合わせまして、適宜、ご報告申し上げたいと考えております。

3点目は、学校給食取引等業務公募型プロポーザルの結果についてです。令和4年度及び令和5年度の「学校給食取引等業務」について、2月3日に公募型プロポーザルの審査を実施し、優先交渉権者が決定いたしました。応募があった業者は1社で、現在、契約締結に向けた協議を進めております。

4点目は、学校給食事業推進専門員からの助言についてです。現在、学校給食ビジョンの策定に向けた取り組みを進めており、専門員の方には、学校給食の提供方式やアンケート調査の項目等について助言をいただきたいと考えております。

### (3) 小規模特認校制度の応募状況について

令和4年度の入学に向けて、令和3年9月27日から10月1日の間に体験入学を行ったところ、7名の児童・園児が参加されました。現時点で、八條北小学校に入学する新1年生は14人と見込んでおります。来年度になりましたら、令和5年度の入学に向けて、さらに小規模特認校制度の周知を行い、多くの方に制度を利用していただけるよう、取り組みを続けてまいりたいと考えております。

### (4) 八潮市立小、中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則(案)に対する意見募集について

新設小学校の開校に伴い、通学区域審議会の答申を踏まえ策定した「通学区域(案)」について、パブリックコメントを実施し、意見を募集したものでございます。意見募集の期間は、令和4年1月10日から2月8日までの30日間で、結果、13人の方からご意見をいただきました。主なご意見とその回答について、ご報告いたします。

①「在学学生は現在の小学校と新設小学校のどちらに通うか選択制にてほしい」というご意見で、同様のご意見を8件いただきました。これに対しましては、「選択制とすることはできませんが、どの程度まで柔軟な対応が可能か検討する」との内容でお答えしたいと考えております。

②「新設小学校の通学区域となっているが、大瀬小学校の方が近いので通学区域を見直してほしい」というご意見で、同様のご意見を3件いただきました。これに対しましては、「様々な面を踏まえて総合的に判断し、まとめられ

た答申に基づくものであるので、通学距離が遠くなる方もいますがご理解賜りたい」とお答えしたいと考えております。

③「通学路の整備をしてほしい」というご意見で、同様のご意見を2件いただきました。これに対しましては、「市教育委員会としましては、事件・事故を未然に防ぐために、関係課等と協議して対応を進めていきたい」という内容で回答したいと考えております。

なお、今後につきましては、このパブリックコメントの結果について、市のホームページでお知らせし、令和4年度には、学校名等の決定に向けて準を進めてまいりたいと考えております。

#### ●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進室長

##### (1) 令和4年1月・2月の事件・事故報告について

合計3件で、うち1件は前回の教育委員会定例会にてご報告したものでございます。

1件目、非行問題行動案件です。門限を破った生徒が家に帰りづらいということや、乱れてしまった自分の生活を正したい、という思いから自ら警察に相談し、児童相談所に保護されている件です。現在、学校は児童相談所と連携し、該当生徒の生活改善に向けて対応を検討しております。

2件・3件目、不審者情報です。どちらも自転車に乗った60～70代の男性から卑猥な言葉をかけられたり、ついてこられたというものです。日にちや内容から同一人物と思われ、翌日に草加警察の署員が学校を訪れ聞き取りが行われました。その後、同様の事案が発生しているとの連絡は受けておりません。

##### (2) 令和3年度第2回生徒指導に関する調査について

暴力行為については小中学校とも昨年度よりも減少しています。大きな暴力行為事案はありませんが、児童生徒同士の些細なことからの小競り合いなどが多く報告されています。いじめ事案につきましては、小学校ではやや増加、

中学校では同数となっています。こちらも大きな事案はなくすべて解消しております。ここ数年の報告で解消率が100%となっていることから、県の生徒指導課からその要因を参考までに教えてほしい、と問い合わせがありました。各学校が管理職と生徒指導主任を中心に児童生徒に寄り添い、きめ細かに対応していただいている成果である、と回答いたしました。

(3) 令和3年度市内小・中学校卒業証書授与式及び令和4年度入学式の出席者について

教育委員の皆様方には、案内文と告示を配付させていただきました。以前もお伝えしましたとおり、昨年同様来賓の出席はなく、教育委員会から見届ける形で出席していただきますので、よろしくお願い申し上げます。

**●菅谷学校 ICT 推進課長**

(1) 八潮市 GIGA スクール通信について

八潮市 GIGA スクール通信につきまして、第22号から第26号までの計5号を発行いたしました。1月18日付けで発行した第22号では、同月14日に大原中学校教務主任である諏訪先生により、教育の情報化推進体制の強化を目的に行われた1年生の数学の公開授業及び参加者による意見交換会の様子を、第23号では25日に放送大学客員教授である佐藤幸江氏を講師としてお迎えし、オンラインで行った「第2回八潮市 GIGA スクール構想研修会」の様子を、第24号では28日に八潮中学校2年生の学級閉鎖のクラスにおいて数学の授業などをオンラインで実施したことから、学習用コンテンツや電子黒板を活用した取組等の様子を、また委員の皆様にもご出席をいただきましたが、同日、八條北小学校・八條中学校においては「埼玉県英語指導方法改善事業」の研究発表会が行われたことから、オンラインでのライブ配信の様子や授業での取組の様子を、第25号では31日に令和3・4年度八潮市小中学校プログラミング教育研究校として指定を行った柳之宮小学校において、

フリーソフトなどを活用したオンラインでのプログラミング授業が行われたことから、2年生・3年生・5年生の授業の状況を、第26号では毎月10日に新型コロナウイルスによる臨時休業に伴い、大曾根小学校及び大瀬小学校においてオンラインで行われた授業の取組を掲載し、各学校に周知を行ったものです。

なお、先ほど第22号でご説明いたしました公開授業につきましては、本来大曾根小学校においても先月27日に開催を予定しておりましたが、同月21日から「まん延防止等重点措置」が講じられたことから、感染状況等を踏まえ、別途調整することとなっております。

## (2) 学びの保障オンライン学習システム (MEXCBT) について

GIGA スクール構想による1人1台端末の環境が整い、今後はどのように端末を活用し、日々の学習や学力向上を目指していくかが課題となっています。そのようなことから、文部科学省において、児童生徒がインターネットを經由して学校や家庭で、国や地方自治体等が作成した問題を活用し、学習等ができるシステム「文部科学省 CBT システム (MEXCBT: メクビット)」を開発し、Chromebook での使用が可能となったため、各学校に通知を行ったものです。

なお、先週14日から18日までの期間に、学校 ICT 推進課において各学校を訪問し、Chromebook の活用状況等について校長先生をはじめ管理職の方々に確認を行ってまいりましたので、ご報告いたします。前回ご説明したとおり、冬休みの期間に家庭への持ち帰りを実施した学校は3校となっておりますが、今年に入ってから学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休業時においては概ねほとんどの学校が持ち帰りを行い、朝の会や帰りの会、オンラインによる授業など、各学校や学年の状況等に応じて、端末を活用した取組が実践されております。また、一部の学校においては、オンライン授業等の実施について、保護者からの問い合わせが数件あったとの報告を受けておりますが、大きな混乱や障害等

もないとのことであり、概ね各学校での取組に対して、ご理解・ご協力が得られている状況となっております。

なお、本日の資料等にはございませんが、先週14日から18日までの期間に、学校ICT推進課において各学校を訪問し、2学期以降のChromebookの活用状況等について校長先生をはじめ管理職の方々に確認を行ってまいりましたので、ご報告いたします。前回ご説明したとおり、冬休みの期間に家庭への持ち帰りを実施した学校は3校となっておりますが、今年に入ってから学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休業時においては概ねほとんどの学校が持ち帰りを行い、朝の会や帰りの会、オンラインによる授業など、各学校や学年での状況等に応じて、端末を活用した取組が実践されておりました。また、一部の学校においては、オンライン授業等の実施について、保護者からの問い合わせが数件あったとの報告を受けておりますが、大きな混乱や障害等もないとのことであり、概ね各学校での取組に対して、ご理解・ご協力が得られているのではないかと考えられます。

[ 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 ]

#### ○木下委員

学級閉鎖などで自宅でタブレットを活用し、オンライン授業がどんどん進んでいる話をよくお聞きします。その中で、例えば子どもによってはあまり学習意欲がなく、オンライン接続をしない子もいるとの話も伺っております。であれば、プリントなどで課題を出した方がいいのかなど、これから考えていかなければならないことが色々あると思います。また、朝と帰りの会のみオンライン接続を行った日もあると聞いたこともありますが、その際、日中の授業などはどうされたのでしょうか。

## ●菅谷学校 ICT 推進課長

新型コロナウイルスの感染状況により、急遽学級閉鎖等となり、各学校でもオンライン授業の準備が整っていない状況もあると思われます。委員の仰るとおり、朝と帰りの会のみオンライン接続を行った場合などは、端末を通じて課題を配付したり、導入している学習コンテンツを利用して自宅での学習が可能となるなど、状況に応じて対応はできる仕組みとなっています。現在、各学校では端末をどのように活用していくか試行錯誤している段階であり、できるところから徐々に取り組んでいるような状況です。まずは、朝と帰りの時間帯を繋ぎ、健康観察などを行うだけでも、生活リズムを維持するという点では有効と思われますので、児童生徒にとってより良い学びが確保できるよう、改善を重ねていければと考えております。

[ 教育長が定例会閉会の宣言をする ]

会議終了。